

大会規定

1. ルールは、2022年度公認野球規則、並びに本大会規定、及び各グラウンドルールにより行う。
2. トーナメント方式6回戦とする。
決勝戦以外は、3回以降12点差、5回以降7点差でコールドゲームとする。
決勝戦のみ5回以降7点差でコールドゲームとする。
試合時間は90分とし、この時間を越えて新しいイニングには入らない。
但し、決勝戦には時間制限を適用しない。
3. 同点で規定イニング終了、または試合時間終了の場合、1回タイブレークを行う。
それでも同点の場合は、両チーム最終出場選手9名ずつによる抽選を行う。
但し、決勝戦はタイブレークを勝敗が決するまで行う。
タイブレークは、無死1・2塁、継続打順にて行う。
4. 試合途中の降雨、日没等による中止の場合の正式試合（コールドゲーム）になる回数を5回とする。
5. 試合球は、ケンコーJ号球を主催者側が用意し、それを使用する。
6. 投手は、変化球を投げてはならない。
7. 登録選手20名以外で、ベンチに入ることのできる人員は、次の通りとする。
責任者1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、マネージャー1名。
8. 抗議は監督、当該選手に限る。
9. トーナメントにおけるベンチは、数字の小さい方を一塁側とする。
10. メンバー表の提出は、試合開始30分前とする。（4部）
11. 各チームとも試合開始時間の1時間前までにグラウンドに集合すること。
12. 本大会の試合中、及び、移動中における事故・負傷・疾病については、主催者側では責任を負いません。
13. 審判は、最終日を除き、球審も含め対戦チーム相互審判とする。（2名ずつ）
各試合、ボールボーイ1名をお願いします。
14. チームに関わる者が、学童野球の趣旨に反したり、選手を中傷するような野次等があった場合、その者を退場させたり、試合を中止する場合がある。
15. （1）投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日6イニングまでとする。
（2）投球回数のおえ方は、投手が回の途中で登板または降板しても、その回を1回と数える。
（3）タイブレークを投球回数に数える。
（4）この規則に違反した場合、その試合を没収試合とする。